

障がい者手帳について

【身体障害者手帳】

身体障害者福祉法に基づき、視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語機能、そしゃく機能、肢体、心臓機能、じん臓機能、呼吸器機能、ぼうこう又は直腸機能、小腸機能及び HIV感染による免疫機能に障がいのある人に交付されます。手帳には、障がいの程度により1級から6級までの区分があります。

この手帳を取得することにより、障がいの種類や程度に応じた福祉サービスを利用できるようになります。

- (1) おすまいの福祉事務所または市役所・町役場障害福祉担当課に手帳申請のための相談に行きます
- (2) 申請に必要な書類（交付申請書・診断書用紙）を受け取ります
- (3) 指定医師の診察を受けます
- (4) 指定医師から診断書を受け取ります
- (5) おすまいの福祉事務所または市役所・町役場障害福祉担当課に申請します
- (6) 書類が大阪府に進達されます（政令市・中核市はそれぞれの市で手帳の交付事務を行います）
- (7) 大阪府で手帳の交付が決定され、おすまいの福祉事務所または市役所・町役場障害福祉担当課に手帳が送付されます
- (8) おすまいの福祉事務所または市役所・町役場障害福祉担当課に手帳を受け取りに行きます

（注）基準に該当しないため、手帳が交付されない場合もあります。

【療育手帳】

知的障がいのある人への一貫した相談・支援を行うとともに、様々なサービスを受けやすくするため、昭和48年に定められた制度です。

この手帳は知的障害者更生相談所（18歳以上の人を対象、大阪府では障がい者自立相談支援センター知的障がい者支援課）または児童相談所（18歳未満の人を対象、大阪府では子ども家庭センター）において、知的障がいと判定された人に対して都道府県知事（政令指定都市の場合は市長）が交付します。

手帳には障がいの程度が記載されます。大阪府では重度、中度、軽度に区分しており、それぞれ「A」（重度）、「B1」（中度）、「B2」（軽度）と表記しています。

障がいの程度は変わることがあるため、次の判定年月を設定し、その時期がくれば、更新の手続きをとっていただくことになっています。

次の判定年月までの期間は、状況によって異なりますが、概ね5年です。

※この他にも**精神障害者保健福祉手帳**があります。